

状況記録写真

設定 No. 17

(様式6)

| | |
|----|----|
| 区分 | 自主 |
|----|----|

森林技術センター



平成13年度 76ろち ぼう芽区C 発芽調査

平成14年1月24日撮影

上下

平成13年度 76ろち 播種区A 発芽調査

平成14年1月24日撮影

上下

状況記録写真

設定 No.17

(様式6)

| | |
|----|----|
| 区分 | 自主 |
|----|----|

森林技術センター



平成13年度 76ろち 播種区B 発芽調査

平成13年度 76ろち 播種区C 発芽調査

平成14年1月24日撮影

状況記録写真

設定No.17
(様式6)

| | |
|----|----|
| 区分 | 自主 |
|----|----|

森林技術センター



平成13年度 76ろち 地かき区A 発芽調査



平成13年度 76ろち 地かき区C 発芽調査



平成13年度 76ろち 地かき区B 発芽調査

平成14年1月24日撮影

状況記録写真

設定 No. 17
(様式6)

| | |
|----|----|
| 区分 | 自主 |
|----|----|

森林技術センター



平成13年度 76ろち 試験地 全景

平成14年1月24日撮影

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

| | | | | | | | | |
|---|---|---|------------------|----------------|-------------------------|----------|------------------|----|
| 課題 | 17 国土保全林等における人工単層林を天然林に誘導する技術の確立（更新） | | 継続 新規 | 担当 | 森林技術 センター (業務第1係) | 開発 箇所 | 鰯頭国有林 76ち,林小班 | |
| 目的 | スギ・ヒノキの単層林伐採跡地において、地かき、ぼう芽、天然下種及び種子の播種による早急な天然林へ誘導する更新技術を解明、人工単層林伐採跡地を天然林へ誘導する技術を確立する。 | | 開発期間 | | 平成8年度～平成23年度 | | | |
| 年度別実施経過 | 14年度実施報告 | | | 15年度実施計画 | | | | |
| | 実施内容 | 備考 (評価及び普及指導) | 実 施 計 画 | 1, 植生調査 (植生状況) | | | | |
| 平成8年度 1, 試験地設定 2, 播種及び地かき 3, 試験地調査 4, 植生調査 平成9年度～平成13年度 1, 植生調査 | 1, 試験地調査 平成14年12月調査(野帳別途保管) 人工数:2,000人 播種区で、ヤブニッケイの稚樹を確認した地掻き区で、ネズミモチの稚樹を確認したぼう芽区で、キハダ・イヌガシ・ヒサカキ・イギリ・タブ・アオキ・マツを確認した。 | 1, 実施結果 全体的に、アカメガシワ・カラスザンショウクサギ等の先駆性樹種(夏木)が繁茂し、有用樹の発生が非常に少ない現状にある。今後、先駆性樹種が繁茂した後、有用樹がしだいに発生して来ると考えます。13年度と同じで、各プロットとも稚樹の発生は非常に少ない。 | | | | | | |
| 経費科目 | | | | | | | | |
| | | | 内 訳 | 物件費 | 品名 | 数量 | 単価 | 金額 |
| | | | | | 標示杭(L杭) 歩道部品 | 14 30 | | |
| | | | | 役務費 | | | | |
| | | | | 人件費 | 基職 | ()人 | | |
| | | | | | 臨時 | 人 | | |
| | | | | 計 | () | | 千円 | |

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。